

## 教師に求められるもの



鎌田 基予子委員

教育委員を拝命しまして、1年7ヶ月が過ぎました。

まずは、学校教育の現場を知ることが急務であると考え、各小中学校への教育委員会訪問には積極的に参加してまいりました。その中で感じたことは、恵那市の先生方が、子どもたちに「わかる授業」をするために日々ご努力をされているということ。また組織的に授業力を底上げしようと、学校ごとに工夫された取り組みもみられ、先生方の使命感で現場は支えられていることを確信しているところです。

ただ、「確かな学力」をつけさせるだけでは教師とは言えません。子どもたちに「たくましく生き抜く力」をつけさせるためには、先生ご自身のたくましさ、広い視野が必要であると感じます。しかし現場では、本来の先生方が負うべき使命に加え、社会情勢に対応した安全対策や災害時の危機管理、地域との連携、多様化している保護者への対応、不登校、いじめ問題などなど。今や、全ての分野においてエキスパートであることが求められていないでしょうか。

先生方が、「わかる授業」に全力を注いでいただけるように、どんな支援をしていけばいいのか…。これこそ急務であると思わずにはられません。

\*\*\*\*\*

## 総務文教委員と教育委員と語る会

恵那市議会総務文教委員と教育委員は、平成26年7月4日に学校訪問と語る会を行いました。

学校訪問は、4月に吉田小学校と統合した明智小学校を訪問し、授業の様子を見学しました。学校から昨年より欠席者が減少した。お互いに刺激を受けて良い方向に向かっているなど学校の様子や現状の説明を受けました。

語る会では、総務文教委員から提案された2つのテーマ「小中学校再編について」「幼稚園、保育園における幼児教育の一元化について」現状の説明を行いました。総務文教委員からの質問や意見に対して、教育委員が意見を述べるガヤガヤ会議形式で活発な意見交換が行われました。

総務文教委員からは幼児期からの教育が大事であり、先生の指導力が重要となる。先生の指導をしっかり行ってほしい。子どもを取り巻く環境が変わってきているが、教育環境を整えることが大切である。教育委員からは子どもにとって何が良いかを未来を託す子どものことを優先に考えていきたい。また両委員から市民には手厚い説明や周知をしてほしいと事務局に要望されました。



## 恵那市子ども教室推進事業

\*\*\* 生涯学習課 \*\*\*

昨今、少子化や核家族化が進み子どもは次第に孤立し始め、地域の中で子ども同士や大人と交流する機会が少なくなっています。こうした影響による子どもの社会性の未成熟は、個人や家庭だけで解決できる問題ではなく、子どもたちの社会性を醸成するためには、市・地域あげての取り組みが求められています。

その方策の一つとして、恵那市では放課後の学校や休日のコミュニティセンターなどを利用し子ども教室を開催しています。そこでは、①さまざまな活動体験の場 ②異年齢や地域の大人との交流の場 ③安心安全な活動の場所づくり を、ねらいとして遊び・スポーツ・文化活動などを実践しており、現在8校区で多くの子ども達が参加して、保護者や地域の方によるボランティア活動でサポートをいただきながら、みんなで楽しく活動しています。



昔あそび（ゴム鉄砲）



三色団子作り

## 年間10回余りの企画展を開催、世界に誇る名品を皆さまに

\*\*\* 中山道広重美術館 \*\*\*

今春、「浮世絵の世界選抜」が一堂に会し、東京・名古屋・山口を巡回した「大浮世絵展」にも出品した歌川広重《木曾海道六拾九次之内》をはじめ、《東海道五拾三次之内》、《名所江戸百景》など質の高いコレクションを所蔵。作品保護のため常設展示はできませんが、工夫を凝らした企画展を年間10回余り開催しています。また2階浮世絵ナビルームの重ね摺り体験（無料）は、日本のみならず海外からのお客さまにも大変好評で、体験学習に最適です。

■毎月第1日曜日を「市民の日」として恵那市民は観覧無料となりますので、お気軽にご来館ください。

### 【展覧会のご案内】

**特別展観** 木曾海道六拾九次之内：8.28（木）～9.28（日）

**特別企画展** サカツ・コレクション 日本のポスター芸術 浮世絵、引札から始まった広告アート

10.2（木）～11.30（日）＝【前期】10.2（木）～11.3（月・祝） 【後期】11.7（金）～30（日）

\*友の会会員、美術館ボランティアは随時募集中/公式HP、Twitter、Facebookで情報発信中です。



春・夏・冬休み期間中は小・中・高校生無料



\*人気の摺り体験コーナー。外国のお客様も多くご来館されます。

